

【モルドバ国内のウクライナ避難民の方々に物資が届けられました】 2022年4月16日

モルドバ日本文化文明協会（モルドバ・キシナウ）と連携して実施している、モルドバ国内に避難したウクライナ難民に対する物資支援について、「カザネシュティ」という町に避難しているウクライナ人避難民の方々に物資が届けられました。事前に避難民方から、不足している物などの要望を聞き、それらに基づく支援を行っています。この村は首都のキシナウから北に約 100 km離れた田舎町です。ここには、ウクライナ南部で戦闘の激しかった「ムイコラーイフ」から避難した人々が生活しています。モルドバ国内でも、首都キシナウに避難している人は比較的支援が充実しており、避難したウクライナ人の中でも自らアパートを借りることができるなど比較的裕福な方が多いそうです。しかし、田舎町に避難した方々は、経済的にも厳しく、着の身着のまま避難した人たちが多く、衣服や生活用品もない状態。テレビもないため、ウクライナ国内含めた現状を把握するすべもありません。食事も国連からの配給があるそうですが、自ら調理をしなければならず、その調理道具もままならない状態です。さらに、モルドバは通常 10USD 程度で購入できた生活用品が 25USD になるほどの物価上昇が起こっており、物資購入も簡単に出来なくなっています。

TMAT はこういった支援の届きづらい地域に避難するウクライナ人の方々に衣服や調理・食事器具、食料などの支援を行っています。避難後に初めて実施できた支援だったため、子供たちを中心に祭り騒ぎのように喜んでくれたそうです。



## 【モルドバ国内 2 か所目の支援を実施】

2022 年 4 月 10 日

2 か所目の支援先となるキシノウにある農業大学の寮（ウクライナ人難民の避難先となっている）へ生活物資支援を行いました。ここには、ウクライナ南部の「オデッサ」から避難してきている人が多くいます。避難者の女性の 1 人は、ポーランドに避難した娘と会えておらず、ウクライナで起こっている状況や家族が離れ離れになっている現状をととても悲しんでいます。そんな中、TMAT からの物資支援に対して「子供たちと私たちへの援助、本当にありがとうございます！平和と健康を！！」と支援物資の箱にメッセージをくださいました。

